

RUDOLF STEINER
«Heileurythmie»

オイリュトミー療法というあたらしい現代のセラピーが、
どのように、技術文明に方向づけられたことに起因する
現代の障害に対して、有効に作用するのか…

シュタイナー最晩年のオイリュトミー療法のはじまりを提示する、
医師と療法士のために行われた講義録

オイリュトミー療法講義

ルドルフ・シュタイナー

石川公子・中谷三恵子・金子由美子 訳

小林國力 監修

〈目次〉

序文／ミヒャエラ・グレックラー

オイリュトミー療法講義 1～6講

成り立ちの歴史と意味

エルナ・ヴァン・デヴェンダー・ヴォルフラム

エリザベート・パウマン

イザベラ・デ・ヤーガー

原註と訳註

日本語版の出版に寄せて／安達晴己

訳者あとがき

石川公子・中谷三恵子・金子由美子／訳

小林國力／監修

A5フランス装 本文176頁

2014年11月29日 刊行

2800円+税 ISBN978-4-903865-31-7

人間有機体のすべての生理的なプロセスは、

分解プロセスと構築プロセスに相当しています。これらの二つのプロセスは、

最終的にすべての器官と器官系の形態形成において、健康と呼ばれる

「流れのなかの均衡」を形づくっています。

この形態を形成する「流れのフォルム」こそが、オイリュトミー療法の基盤であり、

これをオイリュトミーは模倣しているのです。

ミヒャエラ・グレックラー（序文より）

*

子どもにオイリュトミーをさせると、私たちは子どもの成長力を促すことができます。

大人の場合は、内部の有機体は私たちがそれを成長しうるよりも、

大きすぎる抵抗を受けることになります。それにもかかわらず、私たちは成長する力を

この内部の有機体にもたすため、その結果、成長力は有機体の抵抗する力と

いわば激しくぶつかり合い、それによって成長力が変容します。

言い換えれば、成長力はこの変容した状態において、

内部の器官の造形的な力を活性化するのです。（本文より）

私たちの喉頭はオイリュトミーをしています。

喉頭のエーテル体としての明確なオイリュトミーを行っている

オイリュトミストは、実は私たちのなかにいるのです。（本文より）



株式会社 涼風書林

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-6-15-201

Tel/Fax 03-3511-0041

URL : <http://www.kirisutoshakyodotai.org/ryofu.html>

E-Mail : ryofu@kirisutoshakyodotai.org

郵便振替口座：神田三崎町 00180-1-356521